末田まさひこ 市政ニュース

No.24 2011.7.
発行：日本共産党
倉敷市議会議員団
倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3767

庶民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

日本共産党倉敷市議会議員 末田 正彦 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

６月定例市議会で 一般質問に立ちました

（６月１３日～６月２８日）

6月定例市議会は、平成23年度一般会計補正予算案、条例案など31議案を議決しました。

一般会計では、6億3，200余万円の減額となり、累計では、1，673億1，400余万円（前年度同期比102．3％）となっています。

減額になっている主な要因は、国の子ども手当上積み分の減額補正（3歳未満児支給月額20，000円→13，000円）に伴うものです。

また、東日本大震災への支援として、①生活支援一時金の支給、被災者用住宅の借上げなど本市へ避難されている方々への支援事業。②中小企業者への融資制度の充実など市内事業者への支援事業。③市職員の派遣、ボランティア派遣バスなどの被災地での支援事業。など総額1億6，100余万円の予算を計上しています。

一般質問に立つ末田正彦議員

今議会でも、市民のみなさんとの運動で、要求が実現しました。

- **○『暴力団排除条例』制定を約束**
- **○倉敷市職員採用で、知的・精神障がい者へ門戸を開くと約束**
- **○喫煙区域・歩きたばこ禁止区域をもうけると約束**
- **○『男女共同参画週間』の広報を充実**

フォト日誌

5月1日 第82回倉敷地域メーデー

5月8日 第24回港町下津井魚島フェスティバル

無料生活相談：毎月第1，第3水曜日（公務等で日程変更の場合あり） 9:30～12:00 日本共産党児島後援会事務所にて
お気軽にご連絡ください。TEL086-470-0662

６月定例市議会、末田まさひこの一般質問から

2011 年 6 月 20 日登壇
質問内容の一部を抜き出して編集

今議会は、東日本大震災を受けて、一般質問に立った議員19人（議員数は42人）のうち、17人が防災問題を取り上げるという防災議会となりました。日本共産党倉敷市議団は、全員が防災問題を様々な角度から取り上げました。

◇災害に強い安全な住まい、街づくりをめざして◇

「倉敷市住生活基本計画」「倉敷市耐震改修促進計画」から、宅地・建物の安全対策、耐震対策について５点質問しました。

質問①　金沢市では行なわれている“がけ地防災工事”への助成を求める。千葉県浦安市では大規模な地盤の液状化で、宮城県仙台市では地すべりで、建物が傾き、生活することが困難になった。宅地の安全性を確保することは大きな課題。

答弁①　助成制度については、今後引き続き研究する。

質問②　部分的・簡易的な耐震改修・補強に対しての補助を求める。京都市や福岡市では、1部屋や1階だけの部分的な改修にも補助を出し、東京都墨田区や愛知県安城市では、構造評点が1.0に達しない簡易的な補強にも補助を出している。

答弁②　昨年度より国や県に要望してきたが、今後も引き続き、強く要望する。

質問③　住宅内部での地震対策として、家具の転倒防止についての助成を求める。

答弁③　転倒防止器具の普及啓発に努める。

質問④　揺れやすさマップ、いわゆる地震ハザードマップの見直しにあたっては、岡山理科大学西村敬一教授などの最新のデータと知見を取り入れ、進めることを提案する。

答弁④　いろいろな先生方の研究内容なども参考にしながら、国、県の状況と合わせて、想定が変わっていく中での見直しとしたい。

質問⑤　住宅リフォーム助成制度は、住宅の長寿命化と地域経済の振興を同時に進めていくことができる点で、政策的にも非常にすぐれている。実施を求める。

答弁⑤　他市の取組み状況、既に実施している自治体の成果や課題、震災後の利用件数等情報収集を行い参考にし、引き続き検討する。

◇介護保険の後退を許さず、障がい者福祉の充実を◇

要介護度の低い人への介護サービスの切り捨ては許されない！

質問（介護保険について）　６月15日の参議院本会議で、民主、自民、公明、みんなの党などが、要介護

５月３１日　倉敷市立児島小学校運動会

６月６日　党市議団６月議会前懇談会

狆のはなちゃん

度の低い人を介護サービスから追いやるなど、より一層の給付抑制を含む改定介護保険法を成立させた。サービスの切り捨てにつながる介護予防・日常生活支援総合事業は導入すべきでないと考えるが、市の考えはどうか。また、要支援者への介護サービスの質の低下が起きないよう市の対応を求めるが、どうか。

答弁　現段階では詳細が明らかになっていない。本市としては、引き続き国の動向を注視しながら、第5期介護保険事業計画を策定していく中で、介護や支援が必要な方には、適切なサービスが提供されるよう検討していく。

障がい者移動支援事業の所得制限の緩和を！

質問（障がい者福祉について）　福祉タクシーチケットの助成を初め、倉敷市の障がい者移動支援事業において、障がい者本人は所得税非課税であっても、配偶者以外の家族が課税をされ、所得税課税世帯となれば、助成が受けられなくなる。利用対象者の所得制限については、障害者自立支援法の考え方に従うことが適当と考える。見直しを求めるが、どうか。

答弁　障がい者移動支援事業は、障がいのある方の外出や移動を支援するため、福祉タクシーチケットや自動車燃料費の一部を助成するもの。これらは本市独自の事業であり、この事業の所得制限について、障害者自立支援法に準じた扱いが可能かどうか、財政面も考慮しながら検討していきたい。

◇児島宇野津の建設残土崩落事故 市は毅然とした指導を◇

流出現場（６/９現地調査）

「違法に積み上げられた建設残土の撤去と安全措置、棚田水源まで崩落・流出した土砂の撤去を。新たな大規模な埋め立て計画には反対」－児島宇野津地区のみなさんの訴えです。市の認識と毅然とした対応を求めました。

市は、「大変遺憾な事故である。早急な対処を指導し、必要な措置を講じない場合は、刑事告発も視野に入れ、一層強く指導していく」と答弁。

6月市議会を終えて

この議会でも感じたところですが、当局の答弁は、「国・県の動向を注視する」「引き続き検討する」「研究する」の答弁が目立ちました。

当局の答弁からは、住民の願いにまっすぐ向き合うという姿勢が欠けているのではないか、との感じを受けます。私だけでしょうか？

６月１０日　党市議団現地調査（関東電化水島工場）

６月２１日　倉敷市立柳田保育園園庭緑化芝植え

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。　sueda@mx7.kct.ne.jp　TEL086-470-0662　FAX086-470-0668

東日本大震災ボランティアに行く

―“心によりそう”とは―

（５月１４日～５月２０日）

5 月 14 日～20 日の日程で、息子とともに東日本大震災支援のためのボランティア活動に参加し、3 日間の作業に従事しました。倉敷市が用意した岩手県遠野市のボランティア活動拠点、現地までの無料ボランティアバスを利用しての参加です。現地の様子は、報道で見てはいましたが、想像をはるかに超え、声を失いました。しかしながら、その悲惨な中でも、被災者の方は懸命に家屋の片づけをされていました。

1 日目は、陸前高田市米崎地区の田んぼのガレキ除去です。人の手で運べるものを、重機が近寄れる道路脇まで運ぶ作業です。瓦、建物からちぎれた壁、食器、漁具など数え上げたらきりがありません。また、写真、財布、病院の診察券、お札などが出てきます。これは、別にとっておきます。

2,3 日目は、大槌町小槌地区の家屋の泥だし作業に向かいました。家屋の倒壊をまぬがれたお宅ですが、1 階の鴨居まで津波が押し寄せたということですから、その激しさは大変なものです。戸、窓が破られ、流れ込んできた多くのガレキで家の中が埋めつくされたそうです。私たちが伺ったときには、家の中のガレキ除去は終わっていて、私たちの作業は、庭に積もった粘土質の土の除去でした。乾燥してカチカチの土をはぎ取り、土のう袋に詰めて搬出するのです。

ところで、「被災者によりそう」「心によりそう」とは、何だろう、考えさせられることがありました。それは、大槌町小槌地区 K 邸の泥だし作業でのことです。K 邸の庭は、被災前、砕石が敷き詰められていたようなんです。その砕石の隙間、またその上に粘土質の土が積もっています。鍬をふるい、剣スコップで突き、砕きながら土のう袋に詰めていきます。ボランティアはみんな一生懸命です。しかし、その懸命さが、大事なことを見失わせることもあるのです。

ふと手を止めて、近くで作業されていた K 邸のご主人の手元を見ると、少しずつ土砂をスコップの上に集め、泥だけスコップに残し、一粒ずつ砕石を手にとって庭に戻しているのです。「あっ」と息をのみました。庭に敷いていた砕石は、ご主人の大事な財産だったのです。ボランティアとしての大事なこと、「個々の被災者の様々な思いを大切にすること」を教えられた一瞬でした。ボランティアは急がなくてもいいんです。

翌日は、ボランティアセンターの方で「ふるい」が用意されていました。素早い対応に感心しました。それを持って、朝、ご主人に逢うと、「今日はふるいを持ってきたんだね」と言って、にっこりされました。

小さなことかもしれませんが、心が通じあえたのかな、と感じられる瞬間でした。

この間の主な参加行事、活動です（４～６月）

- 4/5　郷内公民館落成式
- 4/10 岡山県議会議員選挙投開票日
  児島柳田町中地区町内会総会
- 4/12 倉敷市立児島中学校入学式
- 4/13 倉敷市立児島小学校入学式
- 4/14 倉敷市立柳田幼稚園入園式
- 4/15 党市議団 2 月議会報告会
- 4/16 岡山県建築士会児島支部総会
- 4/17 児島柳田町板池町内会総会
- 4/19 党倉敷地区委員会総会
- 4/20 定例生活相談日
- 4/22 岡山県土地家屋調査士会倉敷支部総会
- 4/23 倉敷医療生協児島ブロック組合員集会
- 4/27 倉敷市議会総務委員会
- 5/1　第 82 回倉敷地域メーデー集会
- 5/8　第 24 回港町下津井魚島フェスティバル
- 5/9　党市議団市内視察（倉敷市児島産業振興ｾﾝﾀｰ他）
- 5/10 「病院の日・看護の日」記念式典
  党倉敷地区委員会総会
- 5/11 児島地区春の交通安全市民運動推進大会
- 5/14～20 東日本大震災ボランティアで岩手県へ
- 5/21 児島婦人協議会総会
- 5/30 倉敷市議会総務委員会
- 5/31 児島宇野津自治会、建設残土埋め立て問題で対市対県申し入れ
  倉敷市立児島小学校運動会
- 6/1　定例生活相談日
- 6/4　マリン児島地区社会福祉協議会総会
- 6/6　党市議団 6 月議会前懇談会
  倉敷市議会総務委員会
- 6/8　倉敷市議会児島会
- 6/9　児島宇野津建設残土崩落現場調査
- 6/10 党市議団市内視察（関東電化水島工場他）
- 6/11 ドキュメンタリー映画「無言館」上映会
- 6/13 倉敷市議会 6 月定例会開会（6/28 まで）
- 6/14 党市議団 LPG 国家備蓄基地視察
  党倉敷地区委員会総会
- 6/15 倉敷市議会本会議一般質問通告〆切り
- 6/20 末田正彦、倉敷市議会一般質問登壇
- 6/21 倉敷市立柳田保育園園庭緑化芝植え
- 6/24 倉敷市議会総務委員会
- 6/25 子育てカレッジオープニングセレモニー
- 6/26 第 41 回児島武道館創立記念大会（団体戦）
- 6/28 倉敷市議会閉会／議員研修会